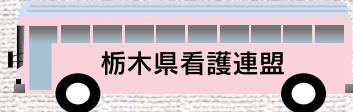


# 会員研修会(国会見学)に参加して



上都賀総合病院 大関 良子



私は、10月3日（水）の会員研修会に参加させていただきました。今回は県内の病院から79名の参加がありました。

国會議事堂は、昭和10年に建てられた歴史のある建物です。永田町から国会に近づくにつれ、警備員の数が増え、しっかりと周囲をガードしている様子に、私自身も緊張感が高まり、ここは大切な国の機関であることを再認識したのです。

ガイドの案内を聞きながら中に入ると、昭和の香りただよう、大理石やステンドグラス、四季を表した油絵などが描かれた、吹き抜けのある広々としたつくりでした。もちろんバリアフリーなどではなく、議員の方は自分の足で、この広い空間の目的の場所まで移動しなくてはならないため、ある意味私たち看護師と同じように体力勝負であると思いました。天皇陛下が年に数回利用される御休所や、参議院議場も見学し、時々テレビで見かける現場の実際を見ることが出来、今までよりも身近な存在として感じるようになりました。

国会見学終了後は参議院会館に移動し、高階恵美子先生、上野通子議員、佐藤努議員の挨拶がありました。特に高階先生からは、診療報酬改訂に伴い、看護記録が大変になつてないか調査していること、現場で困っていることは伝えてほしいとの話がありました。看護の代表として、業務負担の軽減や質の向上のため、真剣に取り組んで下さっていることが伝わり、頼もしい気持ちになりました。

おいしい昼食をいただき、午後は日本看護協会のビルを見学、清水嘉与子会長の話を聞き、看護師が医療に貢献するためには法律が必要であり、それには国会に代表を送ることが重要であることを改めて感じました。

夏には参議院選挙があります。もう一人看護の代表を国会に送ることが出来るよう、選挙の大切さを伝えていこうと思います。

## 参加された皆さまの感想

- 私達の声を国政へと強く感じた。そのためには選挙に必ず行こうと心に誓った。
- 他人事と思っていたが、今日来て自分が行動を起こさなければと強く思った。
- 国会議員の話を聞いて、自分の一票の大切さを痛感した。
- 政治の力を信じて選挙には、家族と一緒に行きます。
- 石田さんを応援する意義が強くなりました。
- 今年の選挙には、一人でも多くのスタッフにも行くように動きります。
- 国会議員の話、どの人も真剣にやっていることが分かってよかったです。
- 政治と看護は結びついていることが分かってよかったです。

